



## 図書館の重要性

学長 松田幸子

ドイツの学者ニーチェは、ショーペンハウアーの主著『意思と表象としての世界』を古本屋で手にした時、非常に大きな衝撃を受けたそうである。「この本を買って帰れ」と彼はデーモン(悪魔)に囁かれたような気がしてその場でその本を買い、家に持ち帰って2週間というもの、毎日朝6時から夜中の2時まで興奮状態で読みふけったという。この本によってニーチェの哲学は、ショーペンハウアーから強い影響を受けたのである。

このような強烈な影響力はないにしても、一冊の本との幸運な出会いによって人生が変化することがある。また本は人々に知識を与えてくれるのは勿論であるが、元気がないときには一つの慰めを与えてくれ、さらに楽しみも与えてくれるものである。もっと言えば食事をしなければ飢え死にするのと同じように、読書をしなければ人の精神は衰えて死んでしまうのである。

人にとって貴重な本との出会いの出来る場所、それが図書館である。だから大学はどこでも、図書館を大学の中心として位置づけているのである。大学図書館の使命は、教育と研究に必要な資料を提供するばかりではなく、特に若い学生が自ら本を選び、それに導かれて自分の考えをまとめながら豊かな人間形成をする所である。単に教室での受け身の講義を聞くだけでなく、図書館での学習も学生にとっては重要である。どのように図書館の形態が変化したとしても、この図書館の本質は変わらないであろう。

さて上田女子短期大学は、今年5月に創立30周年記念式典を挙行し、この「みすゞ」も今回で30号となった。振り返ってみると本学の図書館の歴史は、校舎の一隅の図書室から出発したが、今では長野県下の短大のなかでも誇れるほど内容が充実し、広くて使い易い独立した図書館となっている。

この図書館を中心として、私たちが目指してきた教育と研究の「自由な場」としての本学が今後ともますます発展することを願っている。

## 目次

図書館の重要性
心地よい空間
図書館利用ベストテン
本学教員の新刊著作
附属図書館いま・むかし
じょうほう・くえすと!@図書館
数字で見る附属図書館の移り変わり
図書館ニュース

## CONTENTS

学長 松田幸子	1
日本文化学科 学科長 中西満義	2
	3
	3
	4
	6
	7
	8

# 心地よい空間

日本文化学科 学科長  
中西 満義

附属図書館館報「みすず」が30号を迎えるという。一号に一号を重ねてきた結果であるこの数字は、まさしく附属図書館の歩みを証するものであるだろう。着任以来17年、私もさまざまな恩恵を附属図書館から受けってきた。探求しているテーマにかんする知見を得た時の喜びは何度となく体験させていただいているが、本学の附属図書館は、知的宝庫であるばかりではなく、司書の方々の暖かいお人柄のせいか、コミュニケーションの場としても有り難い存在となっている。ここ一、二年は学務が多忙を極めてなかなか図書館に足を運ぶことができるのが残念であるが、今後もともに発展してゆくことを願っている。この記念号にふさわしい内容を添えられることはできないが、小文では私と図書館の出会いを述べて、責めを塞ぐこととしたい。私が図書館と自覚的に関わるようになったのは、高校一年の時であった。中学生まではもっぱら体を動かすことに熱中し、日が暮れるまで外で遊んだり、スポーツに汗を流していた。小学生の時には、父親が与えてくれた人名辞典や漢和辞典の項目を拾い読みすることが好きで、そのあたりから人物や言葉にたいする関心が高まり、よく整理された学校の図書室で伝記類を中心に読み漁った記憶はあるものの、本や図書館の魅力を実感するにはいたらなかった。

さて、高校入学後、諸般の事情により運動系のクラブ活動を断念してから時間を持て余していた私は、友人の影響もあって、文学の世界にのめり込んでいった。井上ひさし、星新一、北杜夫などといった諸家の軽快な作品に

はじまり、次第に谷崎、川端、三島といった作家へ、また、ヘッセ、グーテ、トマス・マン、ツルグーネフなどの海外の作家へと関心を拡げていった。そのような時、言い知れぬ心地よさを感じる空間として通い始めたのが、金沢市立図書館であった。現在は旧専売公社跡地の玉川町に移転しているが、当時は金沢城址大手門の真向かいにひっそりとあった。重厚ながらも、古びて陰鬱な感じさえ与えた外観同様、内部もけっして開放的な空間とは言えなかつた。しかしながら、私は書架が取り囲む狭い通路に身を置いていたとき、かえって心地よさを覚えた。その心地よさの原因は、書架に整然と並べられた本の美しさ(とくに革装の三島由紀夫全集に魅せられた)であつたが、別言すれば、手に取られ、開かれ、読まれることをひたすら待っている本が放つ張りつめた雰囲気であった。

爾来、文献閲覧(訪書)のため伊勢の神宮文庫や吉野の龍門文庫など、各地の文庫や図書館を訪ねたが、いずれの場所にも共通しているのは、室内に漂っている静謐な空気である。私は、来る者をひたすらに待ち続ける書籍(文献)と向き合う時のあの緊張感を、これからも出来るだけ多く味わいたいと願つている。

# 附属図書館 利用ベスト10

附属図書館で利用されてきた資料のベストテンを過去5年間分あげてみました。皆さんはいくつ見たり読んだり聞いたことがありますか?懐かしい作品もありますね。

Best10

## 平成10年度 録音映像(LD)

順位	作品名
1	ロミオ&ジュリエット
2	スワロウティル
3	もののけ姫
4	美女と野獣
5	ギルバート・グレイブ
6	ノートルダムの鐘
7	アラジン
8	フィフス・エレメント
9	マイ・ガール
10	LEON(レオン)

## 平成11年度 図書利用分

順位	書名	編著者	出版社
1	ももこの話	さくらももこ	集英社
2	のっぽのサラ	パトリシア・マクラクラン	講談社
3	まる子だった	さくらももこ	集英社
4	なにしてあそぶ?保育園で人気の手あそび・うたあそび	ちいさななかま編集部編	草土文化
5	なにしてあそぶ?保育園で人気の手あそび・うたあそびPart2	ちいさななかま編集部編	草土文化
6	五体不満足	乙竹洋匡	講談社
7	「少年A」この子を生んで……	「少年A」の父母	文藝春秋
8	手あそび指あそび	吉本澄子	玉川大学出版部
9	それいけ×ココロジー SPECIAL GOLD版	それいけ!!ココロジー編	青春出版社
10	鉄道員(ぼっぽや)	浅田次郎	集英社

## 平成10年度 種類: LD資料

コメント: この頃の視覚資料といったら、LDです。LDは大きいですよね。「美女と野獣」に出てくる図書室にあこがれた人は他にいるのでしょうか?

## 平成11年度 種類: 図書資料

コメント: さくらももこは人気です。他の年度のベスト10でもよく見かけます。時折アニメの主題歌が頭の中でぐるぐるまわり、困ってしまいます。

## 平成12年度 種類: CD資料

コメント: ゆずやミスチルといった男性グループのアーティストが目立つ中、浜崎あゆみのように、自ら作詞するアーティストがブレイクするようになったのは、この頃です。

## 平成13年度 種類: 視聴覚資料

### 平成12年度 CD利用分

順位	タイトル
1	A Song for xxx
2	ゆずえん
3	DISCOVERY
4	Time to Destination
5	海のYeah!!
6	クルースレコード 1995-2000
7	TERRA 2001
8	デリシャス・ウェイ
9	The Ones
10	音楽

アーティスト名
浜崎あゆみ
ゆず
ミスタークルドレン
Every Little Thing
サザンオールスターズ
globe
the brilliant green
倉木麻衣
マライア・キャリー
19

### 平成13年度 諸資料

順位	資料名	ソフト種類
1	グリーン・マイル	DVD
2	リング0(ゼロ)	DVD
3	シックス・センス	DVD
4	魔女の宅急便	LD
5	白雪姫	LD
6	美女と野獣	LD
7	スチュアート・リトル	DVD
8	Image	CD
9	新編国歌大観 CD-ROM版	CD-ROM
10	ザ・モスト・リラクシング	CD

### 平成14年度 図書利用分

順位	書名
1	ハリー・ポッターとアズカバンの囚人
2	ハリー・ポッターと秘密の部屋
3	たのしいコミュニケーション手遊び歌遊び
4	ストップ・ザ児童虐待
5	ハリー・ポッターと賢者の石
6	模倣犯 上巻
7	簡単に楽しく遊べる手遊び
8	子どもの虐待
9	なにしてあそぶ?保育園で人気の手あそび・うたあそび
10	まじょのかんづめ

編著者名
J.K.ローリング
J.K.ローリング
阿部恵
安部計彦
J.K.ローリング
宮部みゆき
西沢哲
ちいさななかま編集部編
佐々木マキ

出版社
-----

## 平成14年度 種類: 図書

コメント: ハリー・ポッターシリーズはまだまだ健在です。なぜ、「模倣犯」の上巻だけがランキングに入っているのかが、私にとってはミステリーです。

# 本学教員の新刊著作

(本年中に発行された単独著書・共著・分担執筆  
著者名の五十音順)

* 大橋敦夫先生	『今さら聞けない正しい日本語の使い方[総まとめ編]』	(永岡書店)	486円	(監修)
* 長田真紀先生	『日本史有名人の父たち』	(新人物往来社)	1600円	(共著)
* 林昭志先生	『子どもと保育の心理学』	(保育出版社)	2477円	(分担執筆)
* 菱田隆昭先生	『豊かな保育をめざす教育課程・保育計画』 『保育内容総論』 『幼児教育の原理』	(みらい)	2000円 2095円 2100円	(共著) (共著) (共著)
* 松田幸子学長	『自己自身をみつめるための倫理学研究』	(夏目書房)	2800円	(単独著書)



建物全体は、西側（幼稚園側）へ伸びていきました。現在の2階閲覧スペースの付近です（1997年）。



## 知っていますか？ 附属図書館いま・むかし

今までこそ、広い附属図書館。昔は正方形だったことを知っていますか？現在の姿になるまでを、当時の「図書館増改築写真日記」からのぞいてみましょう



館内の資料はすべて、工事期間中、仮の宿へ引越ししました。ダンボールで約1300箱。さながら、書籍出荷場になった感じです。ダンボールが動かぬよう、ラップでグルグル巻きにしてまとめてみたら、4セトラック10台分になりました。



**旧** 外側のロッカーライ部分が壊れています  
になり…



**新** 明るくて話し声が聞こえてきそうなフロウジングルーム&演習室になりました。



**旧** 階段手前から見える書架はほんの少しだした。



**新** 奥へ奥へと広がりました。



**旧** 本棚があり、ロコやレロを選ぶスペースでした。



**新** 閲覧スペースと同じ広がり、イニカラーステップも使えます。



**旧** ねずみもいらないよつね、古い、古い貸出端末も



**新** 今日は、利用者自身で操作します。



**旧** 何ができるの？



**新** 雨がふりじとざしても、大丈夫です。



# じょうほう・くえすと！@図書館

※「くえすと（quest）」という言葉は、英語で「探し回る」という意味。

①授業で「幼稚園の動向」ってレポートが出たって。あーどうしよう



②そうだ、図書館に行こう！



③図書館に来てみたけど…本がたくさんあるなあ。OPACを使ってみたら



⑨それでも欲しい資料がない場合は…司書の人に聞いてみよ♪いろいろ教えてくれて助かりそう。



④ここにあったのね。よかったあ！



⑩レポートに使えそうな情報や資料がたくさん見つかったよ。これでレポート書くの、ばっちり！DVDはいつも見てるけど、レポートが出たら、また図書館に行ってみよう。



⑤背が低い本棚は？あ、統計だ！幼稚園についての動向が3年前までわかるよ。

⑧昔の動向は…えーっと、去年の新聞や雑誌とかは、地下にあるのね。

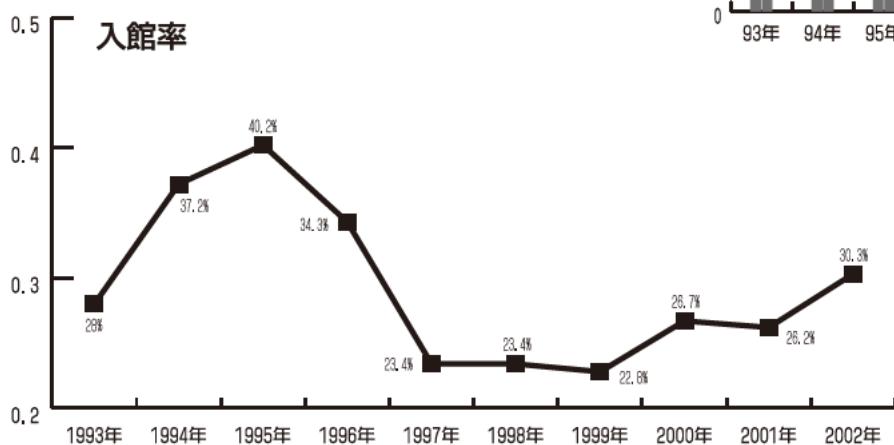
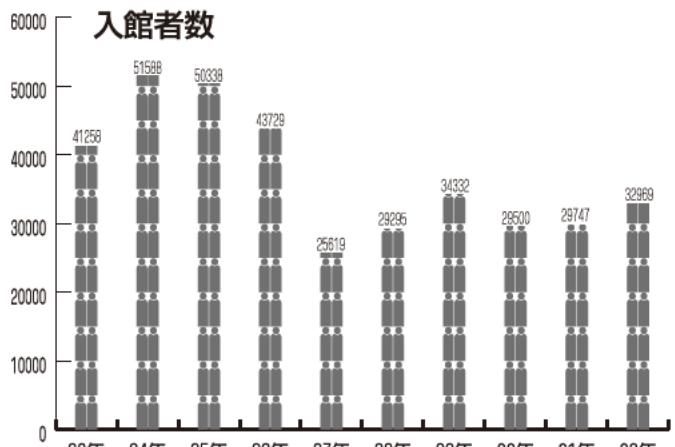
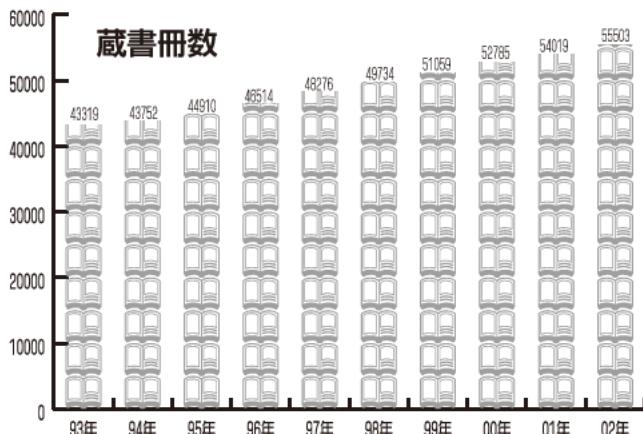


⑥必要なところだけ、コピーして…

⑦もっと新しい動向は…インターネットも使えるよ。



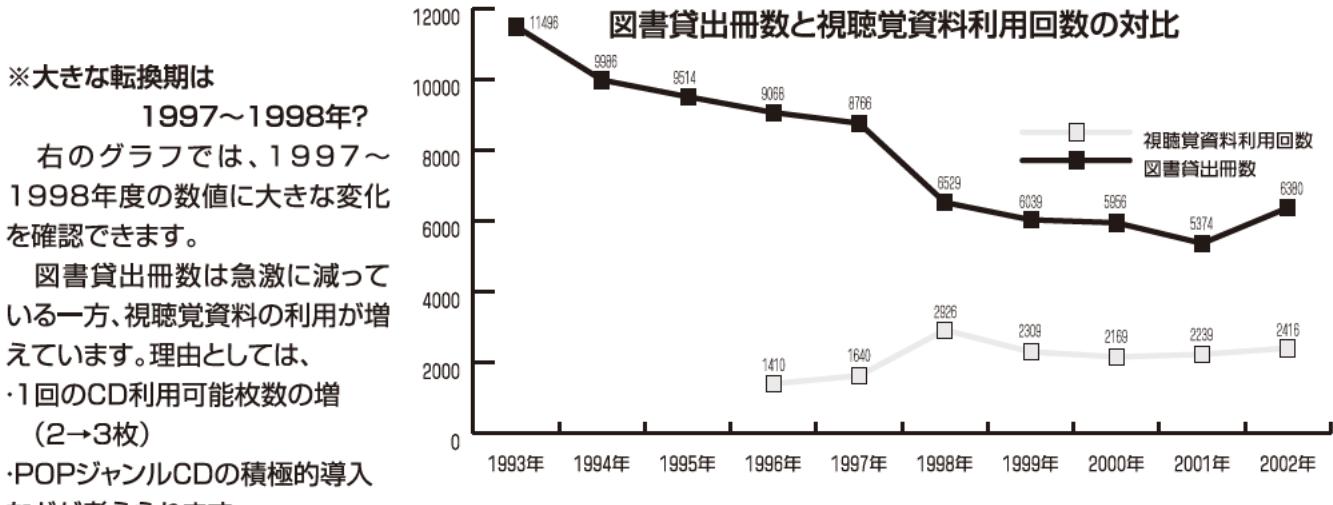
## 数字で見る附属図書館の移り変わり



### ※入館率

1995年をピークに、1997年まで急激な下降線をたどりました。

しかし、2000年ごろからまた微増傾向にあります。このまま、35%台を目指してもらいたいものです。



近年図書貸出冊数は再び微増傾向にありますが、CD、DVDとともに、図書もぜひ親しんでください。

# 図書館 ニュース

## 本年の図書館のできごとから

### 大型絵本架・紙芝居架購入

近年、大型の絵本や紙芝居の購入が増え、特別書架の必要性が出ていました。

本年度予算で写真のような大型絵本架を特注しましたので、ご利用下さい。

なお、この棚には大型絵本・大型紙芝居の他に「パネルシアター」「エプロンシアター」「仕掛け絵本」も配架してあります。



## 第4回 七夕文学賞

◆恒例となりました七夕文学賞も、本年は右記のみなさんの作品が受賞となりました。

優秀賞

### 短歌

公園のベンチにもたれ 時忘る ふたり眺むる 星の逢瀬を

佳作

### 短歌

君に逢い 心躍らす夏の宵 別るる時は 日はしらじらと

佳作

### 自由詩 「恋歌」

目を閉じて  
ただあなたに届けばと  
歌う恋歌  
それなのに  
涼風ばかりが  
虚空に舞う

佳作

### 自由詩 「ひとつの星」

あなたにとって私は  
天の川のなかのひとつの星でしかないけれど  
あなたのためだけに輝いていることを  
気づいてほしい  
一瞬でもいいから  
あなたの瞳に鮮やかにうつりますように  
この願いがどきますように

日本文化学科 2年 吉村 友紀

日本文化学科 2年 木藤 由佳

幼児教育学科 2年 甘利みなみ

(添削は長田真紀先生)

## 編集後記

a postscript by the editor

「図書館は成長する有機体」と業界ではいいです。本学の図書館も30年前はもとより、5年前と比較しても、常に成長し、変化しているように感じられます。変化しつづけるにはかなりの労力が必要となります。しかし、そのおかげで我々が知的好奇心を満足させられる事を考えると、図書館に携わる方々へ、まさに「多謝」です。

(めいしん)

## みすず 創刊30号記念特集号

第30号

上田女子短期大学附属図書館報  
2003.12 発行

編集:上田女子短期大学図書館紀要委員会

発行:上田女子短期大学附属図書館

〒386-1214 長野県上田市下之郷乙620  
Tel:0268-38-6019 Fax:0268-38-6019  
E-mail:lib@uedawjc.ac.jp